

令和2年度
第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

1 日 時	令和2年7月21日(火) 午後1時30分～午後4時00分
2 場 所	教育委員会室
3 議 題	(1) 第1回さいたま市教育行政点検評価委員会の結果について (2) 各施策についての点検・評価
4 資 料	次第、さいたま市教育行政点検評価委員会設置要綱、座席表、出席者名簿、点検評価委員会審査日程、令和2年度教育委員会の点検・評価報告書(案)、平成31年度教育行政方針、第1回さいたま市教育行政点検評価委員会結果について
5 出 席 者	細淵富夫委員長、橋本正晴委員、岡野育広委員 (関係所管出席者) 山浦指導1課長、太田指導2課生徒指導対策係長、内野総合教育相談室長、山本高校教育課長、小椋健康教育課長、山本生涯学習振興課長、大嶋人権教育推進室長、青木文化財保護課長、引間青少年宇宙科学館長、酒井博物館長、森山うらわ美術館副館長、中村生涯学習総合センター副館長、酒井中央図書館管理課長、内山資料サービス課長 (事務局) 野津教育政策室長、竹内教育政策室長補佐、瀧山教育政策室主幹、河地教育政策室主幹
6 欠 席 者	0人
7 議 事	<p>※会議を非公開とはしないことを決定した。傍聴者なし。</p> <p>議題(1) 第1回さいたま市教育行政点検評価委員会の結果について 事務局から、第1回さいたま市教育行政点検評価委員会の結果について説明後、各委員へ内容等に誤りがないか確認を求めた。 ※意見なし 事務局の原案のとおり、了承された。</p> <p>議題(2) 各施策についての点検・評価 令和2年度教育委員会の点検・評価報告書「Ⅲ 点検・評価の結果(令和元年度事業対象)」のうち、「2 グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成」「3 人生100年時代を輝き続ける力の育成」「4 スクール・コミュニティによる連携・協働の充実」の29事業について、各所管課から説明を行い、各委員へ意見を求めた。</p> <p>【説明】 [Ⅲ 点検・評価の結果(令和元年度事業対象)] ＜2 グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成＞ (17) 「グローバル・スタディ」の充実</p>

令和2年度
第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

- (18) グローバル人材を育成する中等教育学校の整備
- (19) 子どもたちの体力向上に向けた施策の推進
- (20) 学校・家庭・地域が連携した食育の推進
- (21) 国際教育・交流事業の推進
- (22) 心のサポート体制の充実
- (23) 未来（みら）くる先生を活用したキャリア教育の推進
- (24) 中学生職場体験事業「未来（みら）くるワーク体験」の推進
- (25) アート・イン・スクールの推進
- (26) 人権教育・啓発事業の推進
- (27) 道徳教育の推進
- (28) いじめ防止対策の推進
- (29) 主権者教育の推進
- (30) 「さいたま子ども短歌賞」の推進

◆教育委員会の自己評価（教育政策室）

< 3 人生100年時代を輝き続ける力の育成 >

- (31) 公民館・図書館施設リフレッシュ事業の推進
- (32) 図書館整備事業の推進
- (33) 生涯学習人材バンク事業の推進
- (34) さいたま市民大学事業の推進
- (35) 歴史文化資源の保存・継承・活用事業の推進
- (36) - 1 博物館・美術館・科学館事業の充実（博物館）
- (36) - 2 博物館・美術館・科学館事業の充実（うらわ美術館）
- (36) - 3 博物館・美術館・科学館事業の充実（青少年宇宙科学館）
- (37) 「学びのネットワーク」の推進事業
- (38) - 1 生涯学習施設と学校との連携充実（博物館）
- (38) - 2 生涯学習施設と学校との連携充実（うらわ美術館）
- (38) - 3 生涯学習施設と学校との連携充実（青少年宇宙科学館）
- (38) - 4 生涯学習施設と学校との連携充実（公民館）
- (38) - 5 生涯学習施設と学校との連携充実（図書館）

◆教育委員会の自己評価（教育政策室）

< 4 スクール・コミュニティによる連携・協働の充実 >

- (39) 学校を核とした地域づくりの推進
- (40) 親の学習事業の推進
- (41) 子どもの生活習慣向上のためのキャンペーンの推進
- (42) チャレンジスクールの充実
- (43) 「学校安全ネットワーク」の推進
- (44) 「心を潤す4つの言葉」の推進
- (45) 「『自分発見！』チャレンジ up さいたま」事業の推進

令和2年度
第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

◆教育委員会の自己評価（教育政策室）

【主な意見及び質疑】

< 2 グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成 >

(17) 「グローバル・スタディ」の充実

(岡野委員)

・教科指導の充実を図り、他教科も踏まえ、学力向上に向けてより一層努めてほしい。

(指導1課)

・様々な取組の成果としての「英語教育実施状況調査」全67都道府県政令市中第1位であると考えている。全国学力・学習状況調査において他教科でも高い結果が出ており、今後はタブレットの活用、読解力の向上にも力を入れていく。

(細淵委員長)

・事業と効果測定とが対応していく形で取り組まれていてよい。さらに効果についてもしっかりと評価できている。他の事業・取組についても効果測定等、事業の検証改善のサイクルを確立できるとよい。

(20) 学校・家庭・地域が連携した食育の推進

(岡野委員)

・学校教育ファームでは、美園南中を除くとなっているが、なぜできなかったのか説明してほしい。

(健康教育課)

・校舎の工事が遅れたため、実施できなかった。令和2年度は全校で実施している。

(橋本委員)

・食育に関する取組をチャレンジスクールで実践している学校もある。家庭や地域とより一層連携を図り、幅広く推進して行ってほしい。

(21) 国際教育・交流事業の推進

(細淵委員長)

・リッチモンドに派遣された参加者からの実績・成果はどのように共有されているか、説明してほしい。

(指導1課)

・グローバル・スタディ主任を集めたグローバル・スタディ研究フォーラムを1月に開催し、その中で成果の周知を行った。さらに成果を共有していけるよう工夫改善を図っていく。

(細淵委員長)

・派遣教員から得られた情報や事業成果を多くの教員が共有し、より一層の指導改善に取り組んでほしい。

(22) 心のサポート体制の充実

(細淵委員長)

・スクールソーシャルワーカーが継続的に関係機関と連携した支援件数が1.5倍とな

令和2年度
第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

っており、サポート体制が充実していることがうかがえる。支援件数が増えた要因を説明してほしい。

(総合教育相談室)

- ・スクールソーシャルワーカーの配置拡充も要因の1つである。また、経験者を小学校配置にしたことで、迅速な連携が図れたことも要因の1つと考えている。

(細淵委員長)

- ・3千件というカウントの仕方について説明してほしい。

(総合教育相談室)

- ・延べ件数でカウントしている。
- ・引き続き、スクールソーシャルワーカーの配置拡充に努めたり、専門の相談員等を配置したりするなど、事業の充実を図ってほしい。

(28) いじめ防止対策の推進

(橋本委員)

- ・学校生活指導員の配置について人数等説明してほしい。

(指導2課)

- ・今年度は警察OBである学校生活指導員の2名を配置し、実績・成果にあるとおり学校の要請に応じて派遣した。

(29) 主権者教育の推進

(橋本委員)

- ・模擬選挙(投票)や出前講座等、体験的な要素も踏まえながら指導の工夫が図られている。また、金融経済に関する意識の向上にも取り組むことができている。一方で投票率(18歳)の低さという課題については、選挙管理委員会とより一層連携を図って主権者教育の推進に努めてほしい。

(30) 「さいたま子ども短歌賞」の推進

(橋本委員)

- ・応募者数が減少している要因について説明してほしい。

(生涯学習振興課)

- ・昨年度は、応募票の発送が1週間遅かったことが要因の1つと考えられるが、例年に比べ特に少なかったということではない。

< 3 人生100年時代を輝き続ける力の育成 >

(31) 公民館・図書館施設のリフレッシュ事業の推進

(岡野委員)

- ・リフレッシュ計画の進捗状況について説明してほしい。

(生涯学習総合センター)

- ・公民館については老朽化した施設等、年間2館程度ずつ修理を行っている。

(橋本委員)

- ・リフレッシュ計画に基づき対策できていると思うが、引き続き、1館でも多く、施

令和2年度
第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

設の老朽化対策等、安全・安心な環境整備を進めてほしい。

(32) 図書館整備事業の推進

(橋本委員)

- ・大宮図書館のリニューアルオープンによって、利用者にとって知的活動への様々な支援がされている。高校生がグループで勉強するなどの様子が見られ、地域の人が来館しやすくなった。市民にとって利用しやすい更なる充実に努めてほしい。

(図書館管理課)

- ・3倍近い利用者数となっている。指定管理委託のよさをさらに生かしていきたい。

(38-1) 生涯学習施設と学校との連携充実(博物館)

(細渕委員長)

- ・学校への貸出し方法やテーマについて説明してほしい。

(博物館)

- ・要請のあった学校へ掲示物等を1週間程度貸出しており、搬出と回収を博物館で行っている。
- ・「大昔のさいたま市」「井沢弥惣兵衛と見沼代用水」「たていわのくらし」の3つのテーマを設けている。

(38-3) 生涯学習施設と学校との連携充実(青少年宇宙科学館)

(細渕委員長)

- ・スクール・サポート・サイエンスにおける出前天体観望会等、参加者の評価が高いことはよいことである。参加校の拡充等、引き続き児童生徒の自然や宇宙、科学への興味・関心を高めていってほしい。

<4 スクール・コミュニティによる連携・協働の充実>

(39) 学校を核とした地域づくりの推進

(橋本委員)

- ・コミュニティ・スクールの実施について期待を感じている。ぜひ推進に努めてほしい。

(岡野委員)

- ・実施校としてスタートした7校をはじめ準備校の指定等、導入が進んでいることが分かる。コミュニティ・スクール実施校から見られる具体的な成果について説明してほしい。

(教育政策室)

- ・例えば、子どもたちのコミュニケーション力を高める挨拶運動の取組や音楽会を開催するなどの取組が行われていた。よい事例を広め、推進していきたい。真のコミュニティ・スクールの実現に向けて取り組んでいく。

(岡野委員)

- ・実施校の優れた取組を広く周知するなど、地域とともにある学校づくりの一層の推進に期待している。

(細渕委員長)

- ・「スクールロイヤー等専門家チーム」として、法律の専門家を入れて解決していかなければ

令和2年度
第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

ならない事案が増えてきたなど、さいたま市の状況を説明してほしい。

(教育政策室)

- ・所管課の回答は後ほど報告させていただく。
- ・学校の法化現象は進んでいる。法律にかかわるいろいろな問題が発生している。
- ・スクールロイヤーとして弁護士を10名配置し、各区担当を割り振り、事象への対応を行ってもらっている。

(細淵委員長)

- ・学校における諸課題等の解決のために、専門性を生かした支援を引き続き行うよう努めてほしい。

(橋本委員)

- ・学校地域連携コーディネーターの活躍により、各学校における地域学校協働活動が充実している学校も見られる。引き続き学校地域連携コーディネーターの資質・能力の向上に努めるとともに、コーディネーターが同校に長く勤務できる体制づくりを行っていただきたい。

(42) チャレンジスクールの充実

(橋本委員)

- ・ボランティアスタッフの募集について新規登録、派遣数の増加等よい成果がみられるが、一方で高齢化等の課題もある。より一層の広報活動に努めてほしい。
- ・チャレンジコーディネーターの情報交換が貴重な場となっている。

(細淵委員長)

- ・民間の活力を導入した「学習中心のプログラム」及び「体験プログラム」の活動内容について現状を踏まえて説明してほしい。

(生涯学習振興課)

- ・土曜日のチャレンジスクールは学習プログラム中心、放課後チャレンジスクールは体験プログラム中心で進めている。民間のノウハウを生かした学習プログラムを提示し、学校ごとに実態に合わせ取り入れている。

(細淵委員長)

- ・活動が停滞している学校への支援について説明してほしい。

(生涯学習振興課)

- ・学習プログラムの提供のほか、講師の紹介等、情報提供を行っている。引き続き支援の工夫を図っていく。

(細淵委員長)

- ・土曜日や放課後に学校の教室等を活用し、様々なプログラムが行われていることはとてもよいことである。停滞している学校への支援については、引き続き、活動状況を把握し、活性化を図る支援も必要である。教室コーディネーターの情報交換会等の工夫改善を図り、地域と学校の連携・協働を支援してほしい。

(43) 「学校安全ネットワーク」の推進

(橋本委員)

令和2年度
第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

- ・地域連携コーディネーターが地域との連携に努めている。自治会連合会と連携し、防寒対策をしたり、熱中症対策として保冷剤等を購入したりしている学校も見られる。各校の費用については、一般的にはどのように対応しているのか説明してほしい。

(健康教育課)

- ・学校の消耗品費等で対応している。

(橋本委員)

- ・コロナ対応等で、防犯ベストを全員分購入して、個人持ちにしている学校もある。多くの人の目で子どもを見守るために、PTAや地域のネットワークを構築し、通学区域全体の安全性を高めてほしい。

(岡野委員)

- ・「ながら見守り」の人数の今後の見通しについて説明してほしい。

(健康教育課)

- ・今後は随時人数を増やしていく。できれば500人ずつ増やしていきたい。最終的には児童数の10%程度までを目標としている。

<閉 会> 16時00分 閉会

【問合せ先】教育委員会事務局管理部教育政策室 829-1626